

SLASH / 09

回路の折り方をしかし、あとで突然、わかる道順を
BEND A CIRCUIT BUT. LATER ALL OF SUDDEN FIND A ROUTE

小林礼佳 Ayaka Kobayashi / 斎藤玲児 Reiji Saito / 藤田道子 Michiko Fujita

2013.6.7.FRI-7.14.SUN

THU.-SUN. 12:00-19:00

OPENING RECEPTION: 6.7.FRI. 17:00- (18:00-TALK SHOW)

このたびKAYOKOYUKIは、大阪市此花区にオープンしたばかりのギャラリースペース、the three konohanaにて、連続シリーズ『SLASH』を開催致します。『SLASH』展は、複数人のアーティストをとりあげ、シリーズで展開していく企画展です。

この企画『SLASH』では、単に複数人のアーティストを並べて展示するだけではなく、事前に幾度となくミーティングを重ね、お互いのイメージや意識を深く理解するところから始めていきます。その上で、それでは作品を通して、自分たちは社会にいったい何を提示できるのか、何がおもしろいのか、何が可能であるのかを話し合い、展示プランを決めます。また、それはDMのデザインにも及び、それぞれの共通する目的からキーワードを上げ、アートディレクターのCRAFTIVEとともに一つの作品を生み出すように制作されています。その時代の流行や、1人のアーティスト、キュレーターの視点に委ねるのではなく、それぞれの立場で考えを出し合い、自らの手でまず価値をつくっていくことこそが必要であると考えています。個人で完結するのではなく、また勝ち負けではないところで、それぞれの思想が交わること、そこから生まれる想像力の多様性を信じて探っていきます。

第9回目となる『SLASH/09-回路の折り方をしかし、あとで突然、わかる道順を-』(6/7-7/14)では、小林礼佳(Ayaka Kobayashi)、斎藤玲児(Reiji Saito)、藤田道子(Michiko Fujita)の3人展を開催します。

小林礼佳は、2013年に武蔵野美術大学大学院を修了し、『GALLERYb.TOKYO』(東京)での個展や、若手ギャラリーの集合企画展『COVERED TOKYO: October, 2012』などで、物質と言葉を組み合わせた挑戦的な作品を発表し続けています。今年行われた修了制作展においては、25平米ほどの白い空間に"く"の字型の壁を配置し、自身で紡ぎだした言葉を貼付けていきました。鑑賞者は、その始まりと終わりの不明瞭な途切れ途切れの文章を探しながらさまよい、一瞬ホワイト

アウトしかける視点を、ふいに現れる言葉により現実につなぎ止められるような、複雑な感覚に陥ります。

斎藤玲児は、2010年に武蔵野美術大学を卒業し、〈#1〉～〈#14〉までの映像作品を制作しました。最近では2013年に『山手83』(神奈川)で個展を開催し、最新作となる〈#13〉、〈#14〉を発表しました。日常的に撮影し続けている写真と映像を素材に、iMovieを使ったアナログに近い手法で切り貼りしていきます。かつて記録された連続的な事象は、音も画像も感情も一度バラバラになり、編集される時の斎藤の身体を通して新たに再構成されます。普段の生活の中で出会った人物、風景、出来事を扱いながらそこから一定の距離を保ち、あくまで絵の具やキャンバスなどの物質を扱うようにPCは操作され、決定されます。

藤田道子は、2004年に東京造形大学版画コース研究生を修了し、現在同大学にて非常勤講師として従事しています。シルクスクリーンの技法を使い、紙だけでなく布や鏡などの素材にもプリントする他、様々な物質を扱いインスタレーションします。薄い透明色のインクを使って、細い線の重なりによって描く幾何学模様や、木材やガラスに糸やリボンを組み合わせた作品など、モノがそこに存在することで生まれる光の反射や影などの自然現象を生み出します。『Gallery 慳 SATORU』(東京)や『Ryumon coffee stand』(東京)などで個展を開催しています。

今年発行されたガーディアン誌が、「私たちの時間の感じ方は感情によって変化する」と報じました。脳の時間の知覚には、それまで経験した記憶や年齢などに対する相対的な情報と、その瞬間に感じている怒りや恐怖、親しみや愛しさなどの感情に対する注意のプロセスも同時に作用しているという研究結果でした。私たちには平等に一定の時間が与えられていながら、体験や経験によって、感じることでできる時間は伸び縮みしてしまうのです。

3人のアーティスト達は、それぞれが全く異なる手法によって素材やメディアを扱い、日常に複雑に絡み合う現象の瞬間を作品に収めています。もし彼らの作品に潜んでいる回路を辿ることで、それまで感じ得なかった感情や感触を疑似体験できたなら、相対的に感じるのみでは行き当たらない、リアルタイムな経験による個々の新しい回路を発見できるのではないのでしょうか。

※「SLASH」とは…

ファンが作った2次創作作品(ファン・フィクション)の中で、キャラクター同士が結びつくようなカップリングを示す際に間にスラッシュ記号(/)を入れたことから、それらを総称して「スラッシュもの」と呼ばれています。

[企画概要]

アーティスト 小林礼佳 Ayaka Kobayashi
斎藤玲児 Reiji Saito
藤田道子 Michiko Fujita

会期 2013年6月7日(金)～7月14日(日)
木曜-日曜 12:00～19:00

イベント オープニングレセプション 6月7日(金) 17:00- (18:00- トークショー)

会場 the three konohana
<http://www.thethree.net/>
〒554-0013 大阪市此花区梅香1-23-23-2F
TEL/FAX 06-7502-4115

企画 KAYOKOYUKI
デザインワーク CRAFTIVE

[お問い合わせ]

KAYOKOYUKI
www.kayokoyuki.com
3-6-14-2F Sotokanda, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0021 Japan
〒101-0021 東京都千代田区外神田3-6-14 2F
Tel: 090-1819-1664 / info@kayokoyuki.com 担当: 結城

[作家プロフィール]

小林礼佳 Ayaka Kobayashi

1988 東京生まれ
2011 武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業
2013 武蔵野美術大学大学院美術専攻油絵コース修了

主な個展

2011 〈水辺にて〉GALLERYb.TOKYO (東京)
2013 〈島々〉武蔵野美術大学 (東京)

主なグループ展

2012 〈COVERED TOKYO: October, 2012〉シャトー2F (東京)

1988 Born in Tokyo

2011 BFA, Musashino Art University, Tokyo

2013 MFA, Musashino Art University, Tokyo

Selected solo exhibitions

2011 "At the waterside" (Gallery b.TOKYO / Tokyo)

2013 "islands" (Musashino Art University / Tokyo)

Selected group exhibitions

2012 "COVERED TOKYO: October, 2012" (Chateau 2F / Tokyo)



小林礼佳 Ayaka Kobayashi
無題

H2.5 × W4.5 × D2.5cm, Mending tape, Mirror sheet, 2012



小林礼佳 Ayaka Kobayashi

無題

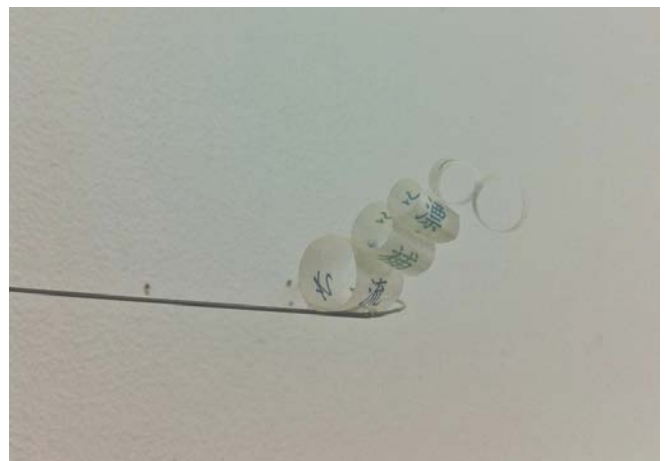
H17.6 × W17.6cm, Origami, Pen, 2012



小林礼佳 Ayaka Kobayashi

島々

installation view, 2013



小林礼佳 Ayaka Kobayashi

無題

H5 × W25 × D8.5cm, Mending tape, Wire, 2012

[作家プロフィール]

齋藤玲児 Reiji Saito

1987 東京都生まれ
2010 武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業

主な個展

2009 〈あと〉3番GALLERY (東京)
〈齋藤玲児 個展〉武蔵野美術大学 (東京)
2013 〈#13〉山手83 (神奈川)

主なグループ展

2009 〈こうして今日も素敵な一日が始〉武蔵野美術大学 (東京)

1987 Born in Tokyo, Japan
2010 BFA, Musashino Art University, Tokyo

Selected solo exhibition

2009 “Trace” (3BAN GALLERY / Tokyo)
“Reiji Saito Solo Exhibition” (Musashino Art University / Tokyo)
2013 “#13” (Yamate83 / Kanagawa)

Selected group exhibition

2009 “Kousitekyoumosutekinaichinichigahaji”
(Musashino Art University / Tokyo)



齋藤玲児 Reiji Saito
#13
Installation view, 2013



齋藤玲児 Reiji Saito
#14
Installation view, 2013



齋藤玲児 Reiji Saito
#13
5min, video, 2013



齋藤玲児 Reiji Saito
#14
8min, 2-channel video, 2013

[作家プロフィール]

藤田道子 Michiko Fujita

1980 大阪府生まれ
2003 東京造形大学造形学部美術学科絵画専攻領域卒業
2004 東京造形大学版画コース研究生修了

主な個展

2002 〈瞬きのリズム〉ギャラリーnode (東京)
2003 〈藤田道子展〉ギャラリーエス (東京)
2006 〈右から光り〉ギャラリーエス (東京)
2009 〈虹になる〉Gallery 慳SATORU (東京)
2010 〈藤田道子展〉ギャラリーゴトウ (東京)
2011 〈きみのこえにみみをすます〉Gallery 慳 SATORU (東京)
2012 〈LINE&SHINE〉Ryumon coffee stand (東京)
2013 〈Asteroids and shining tears〉Ryumon coffee stand (東京)

主なグループ展

2010 〈FLOWERS〉Gallery 慳SATORU (東京)
〈色考 | 白〉Gallery 慳SATORU (東京)
2011 〈April〉tonico (松本)
〈New Jewelry〉CLASKA Hotel (東京)
2013 〈様々な版画表現展〉Gallery 慳SATORU (東京)
〈gallery deux poissons 10th Anniversary〉gallery deux poissons (東京)

1980 Born in Osaka, JAPAN
2004 MFA, Tokyo Zokei University

Solo Exhibition

2002 “Rhythm of Blinking” (Gallery node / Tokyo)
2003 “Michiko Fujita Exhibition” (Gallery ES / Tokyo)
2006 “Light from Right” (Gallery ES / Tokyo)
2009 “Becomes a rainbow” (Gallery SATORU / Tokyo)
2010 “Michiko Fujita Exhibition” (Gallery Goto / Tokyo)
2011 “Listen to your voice” (Gallery SATORU / Tokyo)
“Line and Shine” (coffee stand Ryumon / Tokyo)
2013 “Asteroids and shining tears” (coffee stand Ryumon / Tokyo)

Group Exhibition

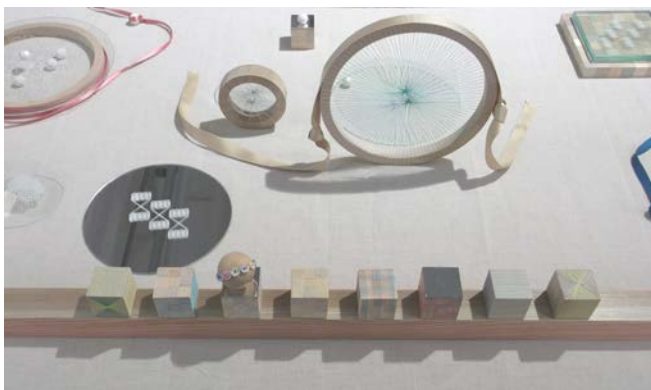
2010 “FLOWERS” (Gallery SATORU / Tokyo)
“Shikiko white” (Gallery SATORU / Tokyo)
2011 “April” (tonico / Mastumoto)
“New Jewelry” (CLASKA Hotel / Tokyo)
2013 “Various print expressions” (Gallery SATORU / Tokyo)
“gallery deux poissons 10th Anniversary” (gallery deux poissons / Tokyo)



藤田道子 Michiko Fujita
yellow and lemon yellow
17 × 17cm, 木, 絹糸, 2013



藤田道子 Michiko Fujita
The cosmos
直径44.5cm, 木, ビーズ, 絹糸, 2013



藤田道子 Michiko Fujita
untitled
机上(130 × 90cm)でのインスタレーション, 木, 糸, 鏡, ガラス, リボン他, 2012



藤田道子 Michiko Fujita
右から光
半径15mmの球, 木に手彩色, 2009